

■山元町上下水道事業経営戦略補足資料（用語の説明）

○経営戦略本文

【包括的民間委託】

施設の運転管理、点検、料金徴収など、これまで自治体が別々に行ってきた複数の業務を、民間企業に一括して長期間委託する手法です。

【アセットマネジメント】

施設の状態をデータで把握し、更新時期・費用を見通して計画的に管理する手法です。

【有収率】

配水した水量のうち、料金として回収できた割合。漏水の増減に影響を受けます。

【PDCAサイクル】

「Plan（計画）」、「Do（実行）」、「Check（評価）」、「Action（改善）」の4段階を繰り返し、業務やプロセスの改善・生産性向上を図るフレームワークです。

○経営比較分析表

【経常収支比率】

料金収入等で維持管理費等の費用をどの程度賄えているかを示す指標

【累積欠損比率】

営業収益に対する累積損失の大きさを示す指標

【流動比率】

短期的な債務に対する支払い能力を表す指標

【企業債残高対給水収益比率（水道）企業債残高対事業規模比率（下水）】

収入などに対する企業債（借金）の規模を示す指標

【料金回収率（水道）経費回収率（下水）】

給水や汚水処理に係る費用が、どの程度料金収入で賄えているかを示す資料

【給水原価（水道）汚水処理原価（下水）】

有収水量1立方メートルあたりの費用を表す指標

【施設利用率】

施設の利用状況や適正規模を示す指標

【有収率（水道）】

施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標

【水洗化率（下水）】

下水道処理区域内で実際に下水道に接続している人口割合を示す資料

【有形固定資産減価償却費】

施設や上下水道管などの資産老朽化度合いを示す指標

【管路経年化率（水道）管渠老朽化率（下水）】

上下水道管の老朽化度合いを示す指標

【管路更新率（水道）管渠改善率（下水）】

上下水道管の更新ペースや状況を示す指標

○投資・財政計画

【長期前受金戻入】

国庫補助金などで取得した固定資産の減価償却に合わせて、受け取った補助金（長期前受金）を耐用年数にわたり毎期、帳簿上で収益として取り崩すこと。現金の収入を伴わない会計上の収益で減価償却費の負担を相殺するために計上される。

【減価償却費】

固定資産（施設や管路等）に取得にかかった高額な工事費や購入費用をその資産が使える期間（法定耐用年数）にわたって分割し、毎年の費用として計上する会計処理です。現金の支出を伴わない会計上の費用です。

【当年度純利益（又は純損失）】

水道料金又は下水道使用料等から得られる収益的収入から人件費や減価償却費などの収益的支出費用を差し引いた利益（又は損失）です。

【企業債】

上下水道施設の建設等に充てる長期借入。世代間の負担を平準化する狙いがあります。

【補填財源】

老朽化した管路の更新や施設建設（資本的支出）において、補助金や企業債などの収入だけでは足りない不足分を補う、主に過去の損益から蓄積された内部留保資金（収益的収支の純利益（または純損失）や減価償却費などの現金支出を伴わない費用等）のこと。